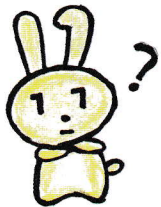


第11回 市民のプラットホーム

「マイナンバーカード」、 作らなきゃいけないの？



日時 1月28日(土)

14:00~16:00 ごろ

お話し 原田 富弘 さん

(共通番号いらないネット)

会場 あきる野ルピア

3階 集会室 (参加費無料)

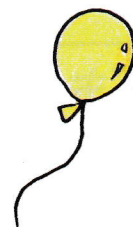
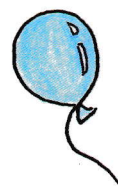
「新型コロナ」流行の影響で、「市民のプラットホーム」を開くことが、なかなかできませんでした。でもその間に、世の中、次々と大変なことが起きているので、思い切って再開することにしました。(状況によっては中止することもあります。)

今回は、いわゆる「マイナンバーカード」について取り上げます。

カードの発行率は、昨年11月末で53.9%。

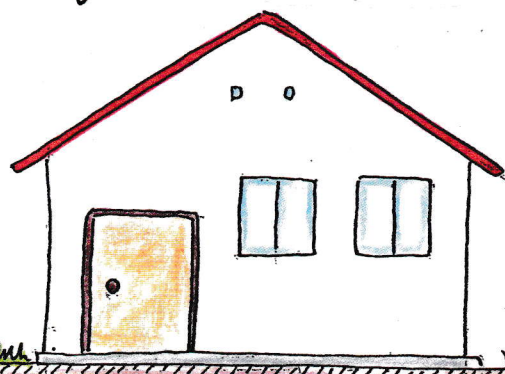
政府は、カードを作ると“ポイント”がたくさんもらえると宣伝する一方、保険証とカードの一体化を義務にすると言い出しています。

なぜこういうことが進められているのか。問題はないのか。このことにくわしい方のお話を伺いながら、みんなで考えてみましょう。



マスクの着用を
お願いします。

飲み物は、各自
ご持参ください。



主催: くさしぎ・草の根市議と
市政を考える会

連絡先: 042-596-4569
(佐橋)
サバシ

e-mail: kusasigi@nifty.com

▼ マイナンバー・カード

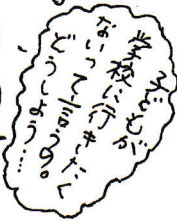
[my number card]

個人を識別する12桁のマイナンバー（共通番号）を裏面に記載したカード。政府は社会保障、納税、災害対策などでの利用促進と行政の効率化のため、2015年10月から住民票をもつすべての人を対象に指定、通知を開始。16年からカードの交付と利用を始めたが、取得は任意のため交付率は22年8月末で国民の47.4%。新型コロナウイルス対策としての特別定額給付金では、マイナンバーは法的に住民基本台帳の情報とひも付けできず、効果的な活用ができない自治体が多かった。健康的な活用ができない自治体が多かった。健康保険証（マイナ保険証）として使うと追加の医療費負担が問題となり、22年10月から改善された。

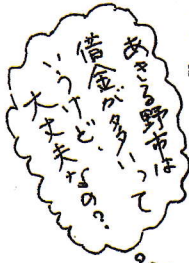
（自由国民社
『現代用語の基礎知識 2023』より）

「市民のプラットフォーム」って何？

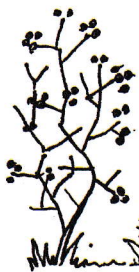
日々の暮らしの中で、困りごとにおぼつかったとき、情報を集めたり、同じ悩みを抱える人と出会ったりすることで、解決の糸口が見えてくる場合があります。



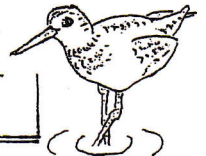
また、暮らしの中で、「なんで？」「このままでいいの？」と感じたとき、その小さな「？」をそのままにせず、調べ、考え、声を出すことで、「市民参加の政治」が始まります。



そのために、人と人が情報を交換し、語り合い、つながっていく場。それが「市民のプラットフォーム」です。



「くさしぎ」の紹介



「くさしぎ」は鳥の名前ですが、「草の根市議」という意味も込め、会の名前としました。

2011年の福島原発事故以後、多くの気づきがありました。その中に「今まで私たち市民は、あまりにも政治家に政治をお任せにし過ぎたのではないか」という苦い反省もありました。

「くさしぎ」は、この反省に立ち、もっとも身近な市政に、私たちの代表の「草の根市議」を誕生させ、その市議とともに、一般の市民が主体的に市政に関わっていく、と呼びかける、あきる野市民の会です。関心を持たれた方は、ぜひご連絡ください。